

教員公募要項

香川大学創造工学部

1. 主担当コース名	2. 専門分野・職務内容	3. 募集人員
材料物質科学 コース	環境材料化学分野における教育・研究	准教授、講師（任期なし） または助教（任期5年、再任可、再任後は任期を定めない）1名

4. 応募資格：

博士又は Ph. D. の学位を有し（もしくは採用日までに取得見込みであり）、機能性有機材料（例えば、有機・無機高分子化学、超分子化学、有機光電子機能材料、有機電気化学、機能性錯体化学、有機無機ハイブリッド材料等）に関する分野において職種にふさわしい研究業績を有すること。環境材料化学関連分野の授業科目（例えば、有機化学、高分子化学、無機化学、材料物質科学実験／演習など、（大学院）機能材料関連科目）と、全学共通科目ならびに学部共通科目が担当可能であること。当該分野に関する教育を修めた者で、当該分野の教員と連携して研究を積極的に推進する意欲を持ち、大学院博士後期・前期、学部学生の教育に熱意を持って取り組むことができるこ。

5. 採用予定年月日：2024年4月1日（月）以降のなるべく早い時期

6. 提出書類：①履歴書、②研究業績リスト、③主要論文の別刷（コピー可）およびその概要、④教育・研究・社会貢献活動報告書、⑤本学部における教育研究の抱負等、⑥応募者について問合せ可能な方のリスト（提出書類の記入要領は別紙のとおり）、⑦それらのデータを保存した電子媒体
※「研究業績リスト」は別紙3、「教育・研究・社会貢献活動報告書」は別紙4を参照して記載してください。

7. 応募期限：2023年10月13日（金）（必着）

8. 送付先：〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学創造工学部長 末永 慶寛

（「材料物質科学領域（環境材料化学分野）教員応募書類在中」と朱書の上、書留にて送付ください。）

9. 問合せ先：高松市林町2217番地20 香川大学林町地区統合事務センター総務課庶務係
TEL：087-864-2101, FAX：087-864-2032
E-mail : shomu-t@kagawa-u.ac.jp
または、材料物質科学領域 領域長 石井 知彦
TEL : 087-864-2414, E-mail : ishii.tomohiko@kagawa-u.ac.jp

10. ホームページ：香川大学創造工学部 https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/

11. 選考方法：第1次選考…書類審査

第2次選考…面接と模擬授業（第1次選考通過者対象）

2023年11月23日（祝）に、香川大学創造工学部にて実施予定です。
詳細は、対象者に連絡します。第2次選考のための旅費は自己負担です。

12. その他：香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており、選考にあたって業績（教育業績、研究業績）及び人物の評価等において同等と認められる場合は、本学部のジェンダーバランスに配慮して採用します。

本学における新規教員の給与は年俸制を適用します。また、人事給与マネジメント改革の一環として、学術研究や教育の活性化を図るため、若手教員の採用を積極的に推進しています。

大学教員経験が3年未満の場合は、採用後に本学「新任教員研修プログラム（2年間で40時間以上）」の受講対象者となります。

教員応募提出書類作成要領

① 履歴書

市販のもの、自作のものいづれでも結構です。必ず写真を貼付し、押印してください。
住所、氏名、生年月日、連絡先、学歴（高等学校卒業以降の全て、入学卒業年月を記載すること）、
職歴（非常勤講師を含む）等の他に所属学会もご記入ください。

② 研究業績リスト

著書、学術論文、国際会議プロシーディングス、登録特許、作品など、研究業績について、別紙3の
様式に準じて作成してください。

③ 主要論文の別刷及びその概要

研究業績リストに記載の主要な論文（5編以内）について、その内容をそれぞれ400字以内で簡潔
に説明し、併せてその別刷を添付してください。

④ 教育・研究・社会貢献活動報告書

教育活動、研究活動、社会貢献活動について、別紙4の様式に準じて記載してください。

⑤ 本学部における教育研究の抱負等（A4判用紙2枚以内）

香川大学創造工学部における教育研究の抱負、応募する専門分野及び職種等についての抱負を記述
してください。

⑥ 応募者について問合せ可能な方のリスト

応募する職位に応じて、下記の人数を挙げてください。
教授・准教授・講師に応募する場合は、国内外を問わず著名な研究者等から、3人以上、助教につい
ては2人以上とします。「著名」の判断は応募者に委ねますが、簡潔な説明文を添付してください。
なお、第1次選考通過者の方には、リストに記載の方、全員の推薦状を当日持参いただくことなり
ます。

研究業績リスト

- I. 著書, II. 学術論文（査読付き）, III. 国際会議プロシードィングス（査読付き）, IV. 登録特許, V. 作品, VI. 学術論文（査読なし）, VII. 学会発表（査読なし）, VIII. その他（報告書等）に分けて、項目別に通し番号をつけて記載してください。該当する業績がない項目は記載しないでください。
- 著者名, 執筆者名の欄は, 応募者本人の氏名に下線を付してください。
- 頁下段中央に頁数を付してください。

氏名 ○○○○

I. 著書

1. 著者名 : ○○○○ (単著)
著書名 : ○○○○○, 全300頁
出版社名 : ○○出版, ××××年
2. 著者名 : ○○○○ (分担執筆, 共著者 (又は監修, 編集者) : △△△△)
著書名 : ○○○○○, 全350頁 (担当箇所: 第○章, 50~100頁)
出版社名 : ○○出版, ××××年

II. 学術論文（査読付き）

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : ○○学会論文集, 卷(号), pp.100-108, ××××年
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

III. 国際会議プロシードィングス（査読付き）

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : Proceedings of ○○○○, pp.100-108, 2012
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

IV. 特許登録（登録された特許についてのみ記載してください。）

1. 発明者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
発明の名称 : ○○○○○
特許番号 : 特許第××××号, (登録年月日 : ××××年××月××日)

V. 作品（建築作品, 知的財産として登録済みの意匠, 特許（公開特許を含む）が採用された商品, テレビ・ラジオなどにより放送された作品, 劇場などで一般公開された作品（音楽作品や映像作品等）, 公募展の入選作品, 企画展の招聘作品, 展覧会の企画・キュレーション, 企画執行に係わった商品）※商品には外部機関から評価されたソフトウェア・サービス等を含む。（作品の概要と関わりが具体的に分かる内容を記載してください。エビデンス（第三者機関やメディア（テレビ・新聞・雑誌・WEB等）により公開された資料）があれば記載し, 添付してください。）

1. 製作者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
作品の名称 : ○○○○○, ××××年, 発表場所
概要 :
関わり :
エビデンス :

VI. 学術論文（査読なし） (上記のIIと同じ体裁で記載してください。)

VII. 学会発表（査読なし） (上記のIIIと同じ体裁で記載してください。)

VIII. その他 (報告書等を適宜記載してください。)

教育・研究・社会貢献活動報告書

I. 教育活動, II. 研究活動, III. 社会貢献活動, IV. 自己評価・自己アピールについて、それぞれ以下の
ような事項について記載してください。

I. 教育活動

- ・主な教育活動歴（大学における授業担当、学協会等における講習会の講師等も含む。）
- ・受賞歴（教育活動に関する受賞歴）
- ・教科書の執筆、教材の開発等
- ・その他教育活動に関する業績

II. 研究活動

- ・受賞歴（研究活動に関する受賞歴、全受賞者氏名、表彰名称、表彰業績名、表彰主催団体名及び表彰年月日を明記してください。）
- ・学会、シンポジウム等における招待講演（本人の講演に限ります。）
- ・科学研究費補助金、財団の助成金などこれまでに獲得した競争的研究資金（研究費の種類、研究テーマ、研究費を受けた期間及び研究費の金額を記載してください。）

III. 社会貢献活動

- ・学会、シンポジウム、研究会などの組織・運営や役職など
- ・国及び地方公共団体等の審議会、委員会等の委員（委員名称、期間）
- ・学協会、市民団体等への貢献活動

IV. 自己評価・自己アピール

これまでのご自身の教育・研究・社会貢献活動に関する自己評価・自己アピールを自由に記載してください。